花と木の実践養成教室

花と木の実践養成教室が始まりました！

令和4年4月12日（火）

水みどり課の竹内です！
1年間よろしく
お願いいたします。

花づくりの基礎《土・水やり》
植物の好む環境や構造を知ることが大切です。

植物が自然の中でどのように育っているかを知ることが、園芸を始めるにあたり重要になってきます。

育つ環境を理解すれば、用土・肥料・水やりなど植物に合わせて上手く育てることができます。

植物の故郷を知る！

- 植物の育つ環境を知ることで、上手く育てることができます。
  - 湿気を好むのか！　乾燥を好むのか！
  - 酸性土壌を好むのか！　アルカリ性土壌を好むのか！
  - 肥料を多く必要とするのか！
  - 寒さに強いのか！　暑さに強いのか！
  - 生育期、休眠期はいつなのか！
  - 日を好むのか好まないのか！

★適地・適作が栽培の原則です。

良い土とは

根は呼吸をしている
ため酸素が必要

必要な水分は保つ

通気性・排水性・保水性・保肥性

水はけが良く
余分な水はためない

養分を保持する力

土の種類（主な用土）

排水性・通気性が良い

有機質を含まない土（酸性）

植物性用土

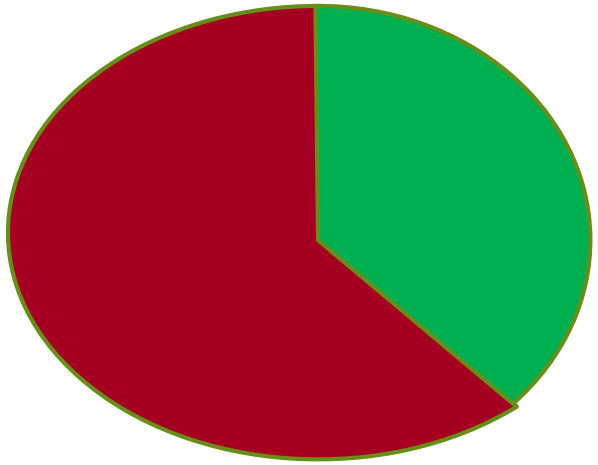
水ゴケが堆積化したもの（酸性）

通気性があり微生物相を改善（アルカリ性）

保水性・保肥性が良い

土の配合（例）

赤玉土　6：4　腐葉土



水やり

『水やり三年』とよく言われ、上手な水やりはなかなか難しいものですが、欠かせない作業であり単に水をやるだけではなく、生育状態を診断するチャンスでもあります。

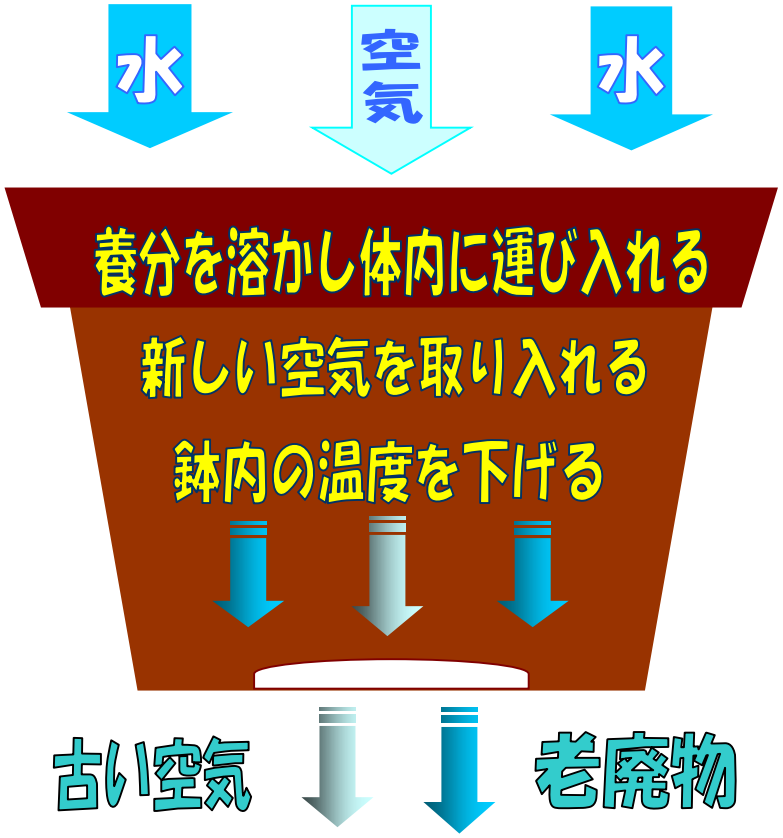
　水は植物にとって生きていく上で必要不可欠であり、特に室内の観葉植物にとっては、植物本来の生育環境ではなく、人工的に補わなくてはなりません。

　水をどんどん与えすぎると土の空気がなくなり、根が水分を吸収することができなくて根が腐っていきます。

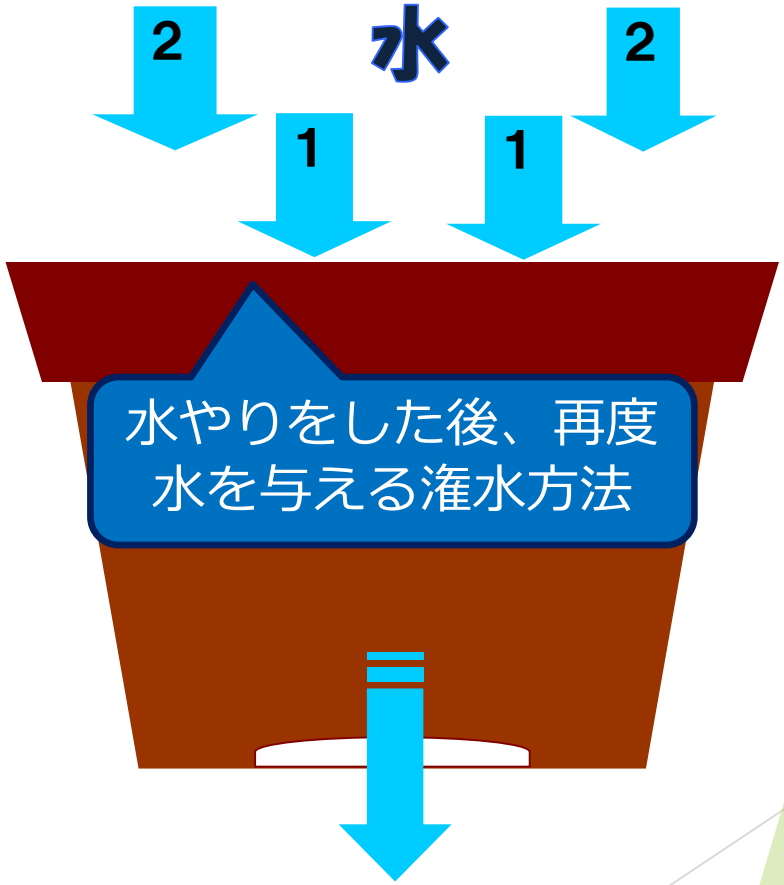
効果的な水やり(根の環境を良くするための基本の水やり)

◆ 土の表面が乾いてから水を与える。
◆ 水やりする時は、ゆっくり・たっぷり
◆ 鉢皿に水を貯めない。

水の働き


水
空気
水
養分を溶かし体内に運び入れる
新しい空気を取り入れる
鉢内の温度を下げる
古い空気
老廃物

反復潅水


水
2
2
1
1
水やりをした後、再度
水を与える潅水方法

春の種まきです。
今回は、マリーゴールドの
種まきをします。

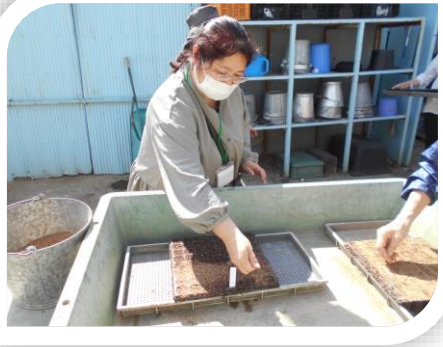
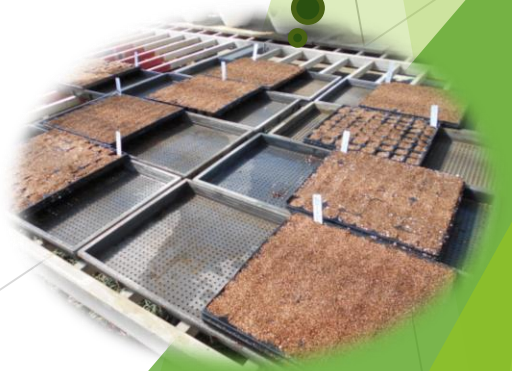
種まき用資材のトレーに、種まき専用の土を入れます。
土は、予め水分を吸収しやすいように水を含ませます。

土を均等に入れたら
水を吸水させます。

こんな感じです！

種を1マスに
一粒づつ入れ
ていきます。

まき終われば、細かいバーミキュライトを種が隠れるくらい敷き詰めます。



後は、発芽を待ちます。